

# やまぐちっ子学力向上だより

第 149 号 R6.7.18

山口県教育庁義務教育課

## 今、あらためて「めあて」と「振り返り」を考える

各学校においては、子どもたちの学力向上を図るために、校内研修の実施や、日々の授業改善、課題解決のための取組を進めておられることと思います。今回は、授業改善の視点の一つとしてお伝えしてきた「めあて」と「振り返り」について、あらためてその意義やポイントを共有したいと思います。

### 「めあて」と「振り返り」のポイントとして

子どもがよりよく学んでいくために、そして教師が指導の改善につなげることができるようにするために、「めあて」と「振り返り」のポイントを例としてまとめました。

#### (1) 「めあて」のポイント

- ・子どもが学習の見通しをもてるように
- ・子どもの問いから「めあて」を引き出す／「めあて」が子どもの問いを引き出す

#### (2) 「振り返り」のポイント（メタ認知→学びの調整）

- ・「めあて」に即した「振り返り」を行う
- ・自分の学びを実感できるように
  - ★できるようになったことや、どのようにしてできるようになったか
  - ★友達との関わりの中で気付いたこと
  - ★次の時間にがんばりたいこと、自己の課題 等



こうした軸のある授業によって、自立した学習者を育成することをめざします。

#### 学習指導要領から

学習指導要領（総則）解説では「児童が学ぶことに興味や関心をもつことや、見通しをもって粘り強く取り組むこと、

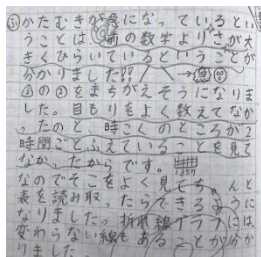
自己の学習活動を振り返って次につなげることなどが重要になる」と示されています。

#### 中教審答申から

中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では「個別最適な学び」についての記述の中で、「協働的な学び」との一体的な充実の必要性和ともに、自ら学習を調整することの重要性が示されています。

「協働的な学び」との一体的な充実の必要性和とともに、自ら学習を調整することの重要性が示されています。

<小学校のある児童の振り返りです>



振り返り「かたむきが急になっているということは、前の数字よりさが大きくひらいているということがわかりました!!! 3の②をまちがえそうになりました。目もりをよく数えていなかったのと、時こくのところが2時間ごとにふえていることを見てなかったからです。なので、そこをよく見てちゃんと表を読み取ったらできるようになりました。折れ線グラフには、変わらない線もあることがわかりました。

できるようになったことに関する記述

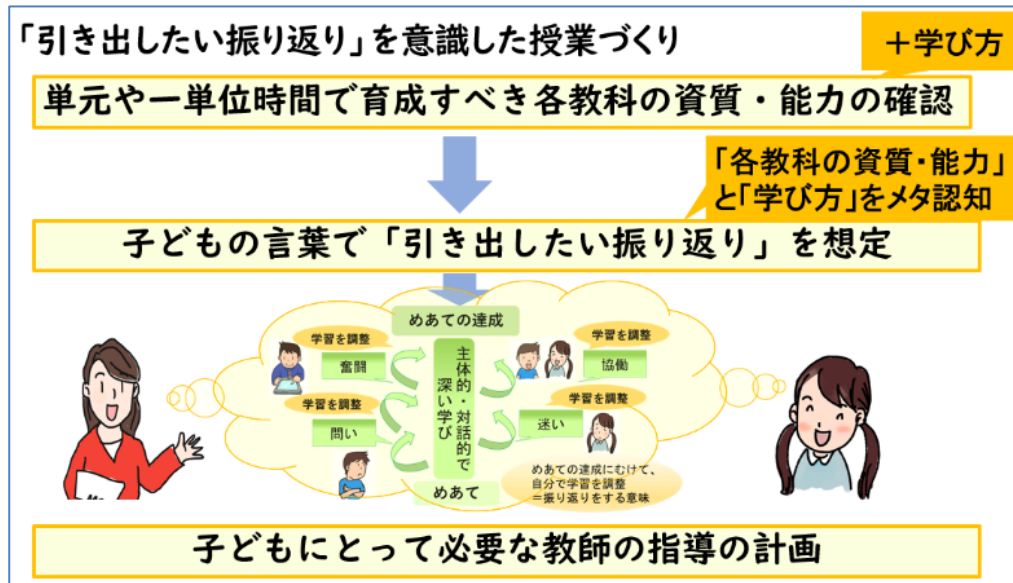
どのようにしてできるようになったか、自己の変容や伸び、に関する記述

# 「引き出したい振り返り」から授業をデザイン

さて、今回はあらためて「めあて」と「振り返り」について共有しましたが、義務教育課では、各市町教育委員会とともに、「引き出したい振り返り」から授業を考えるということを進めています。

これは、目標を達成したと考えられる子どもの具体的な姿、言葉から逆算して学習内容や学習過程を考えていくというもので、ゴールから逆向きに授業を計画していく方法です。（子どもの振り返りの画一化を図ったり、必ずしも評価規準と直結させたりする意図ではないことにはご留意いただきたいと思います）。授業をよりよいものにしていくために、学びの主演である子どもの姿や言葉から授業の流れを考えていくというアプローチになりますので、ぜひ授業づくりの一つの軸にさせていただきたいと思います。

義務教育課資料 1



引き出したい振り返りから授業を考えるためのポイントを示したものです。



単元の目標を踏まえて授業をデザインする演習資料です。

義務教育課資料 2

## (参考) 手順

< 単元について >

- ① 単元・題材の目標を設定する。
- ② 記録に残す場面／評価を考える。

< 本時について >

- ③ 本時の目標と照らし合わせ、引き出したい振り返りを考える。
- ④ 本時のめあてを考える。
- ⑤ 学習活動／手立てを考える。

「引き出したい振り返り」からの授業づくりを支える單元構想シート(様式)	単元・題材名 (=大きな問い)
教科名	
単元・題材の目標	
● 本時 ( / ) のめあて	
○ 学習活動／手だて (主体的・対話的で深い学びになっているか? ICT 活用は? 等)	
● 引き出したい振り返り [継続的な見取り (=総合的な評価に関する見取り)・指導に生かす評価 (=授業改善のため)]	
[記録に残す場面] ~内容のまとめりごとの振り返り等含む~	
★身に付けさせたいことが身に付いたか教師も生徒も確認する方法や機会はどうに?	

授業の「芯」